



# 名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う

令和元年 初秋号

## 透析センターのご紹介



撮影:脳神経外科医師 大原 茂幹

ここ数年来経験する猛暑や雨季を思わせる長雨、ゲリラ豪雨など亞熱帯地方に住んでいる様な気がします。特に8月の下旬に九州地方を襲った豪雨は凄まじく、佐賀県では甚大な被害が発生いたしました。住民の方々が一日でも早く普段の日常生活を取り戻す様願っています。

さて名鉄病院では、この8月から「透析センター」を開設いたしました。これまで透析常勤医もおらず、透析ベッドも4床しかありませんでしたので、当院で通院中の患者様さえも透析が必要となった場合、夜間休日ではお断りせざるを得ない状況が続き、スタッフからも透析ベッドの増床を要望されていました。この度、「HCU」の4床とは別に、2号館6階に新しく「透析センター」を開設いたしました。当院に通院中の患者様の透析導入や維持透析を既に行っている患者様の緊急入院など、今後は柔軟な対応が可能となりました。新しく赴任した透析センター長の森弘部長を先頭にスタッフ全員が熱く燃えておりますので地域の先生方もご支援をよろしくお願い申し上げます。



名鉄病院  
病院長  
**細井 延行**





## 〈医師〉

血液透析療法は、糖尿病、高血圧症や慢性腎炎などの様々な疾患により腎機能が低下して、最終的に末期腎不全に至った方に腎臓の働きの代わりをする腎代替療法の一つです。

現在、末期腎不全に至り腎代替療法を受けておられる方は、全国で33万人以上、愛知県下でも1万8千人以上の方になっています。約380人に1人の割合となっています。



名鉄病院でも、そういう末期腎不全に至った方に対して、維持血液透析療法を提供できるようにするために、令和元年8月に透析センターを開始しました。このことにより、当院に通院中の方も引き続き当院での治療を継続できるようになり、また救急対応においても他院での維持血液透析患者様を受け入れ可能となりました。より一層地域医療の担い手としての責任を果たしていくたいと考えます。

現在、すでに4人の方が維持血液透析のために週3回当院の透析センターに通院されておられますが、今後血液透析療法が必要となられた方をさらに受け入れていけるように取り組んでいます。

今後はそういう通院維持血液透析を受けておられる方のquality of life(QOL)の向上を目指して、より質の高い、より良い血液透析療法を提供していくように、スタッフ一丸となって取り組んでいこうと考えています。





## 〈看護師〉

透析センターに看護師が常駐し、維持透析患者さんの受け入れができるようになりました。透析センター看護師として安全に透析が行えるように透析中の観察はもちろんのこと、入院患者さんに対しては入院生活において透析治療が安心して受けられるよう病棟看護師をはじめ、薬剤師・管理栄養士など様々な職種と連携を図っています。また外来維持透析患者さんに対しては日常生活がスムーズに送れるような指導に心がけ、安心して通院できるような支援を行います。特に新たな取り組みとしてフットケアを導入しています。透析を受けられる患者さんの中には下肢や足先のしびれにより感覚が鈍くなることや傷ができても痛みを感じないなどの症状がみられ、傷の感染により下肢や趾(ゆび)を失いかねません。そのためフットケアはとても大切であり、通院透析が長く続けられるよう糖尿病看護認定看護師や皮膚・排泄ケア認定看護師とも協力し、センタースタッフが一丸となって患者さんへの指導を含め取り組んでいきます。

当院での透析は週3回、1日4時間程度かかります。透析センター内では同一体位による安静が強いられるため、TV鑑賞やセンタースタッフとの指導を含めた会話を持つことで、安楽に過ごせる環境作りを目指します。透析を継続していくためには自己管理が大切になります。私たち看護師は患者さんが元気に通院できるように生活をサポートしていきます。

## 〈臨床工学技士〉

当院では2019年4月に森弘医師を迎えて、8月1日より透析センターを新しく開設することとなりました。それに合わせてシャント手術やシャントPTAも当院で行う体制が整い、導入前の保存期外来受診からシャント作成、そして導入期から維持期まで一括して管理することが出来るようになりました。

当院の透析センターは10床と小規模ではありますが、最新機器の導入により10床全てでオンラインHDFによる治療に対応可能となり、年明け頃より運用を開始する予定としています。オンラインHDFとは従来のHDFで使用していた置換液の代わりに透析センター内で作成した透析液を直接患者さんへ補液する治療方法です。そのため透析液を補液に使用するためには厳重な透析液の水質管理(細菌やエンドトキシンと言われる物質を測定感度以下になるまで清浄化すること)が必要であり、臨床工学技士が責任をもってその基準を厳守するようにしています。オンラインHDFの場合、心臓への負担の軽減、痒み軽減、血圧安定、貧血改善等患者さんにとって多くの利点があります。ご興味やご不明な点がありましたらスタッフまでお気軽に問い合わせください。



多用途透析用監視装置



溶解装置と供給装置

## 健康によりレシピ

### さんまと秋野菜のラタトウイユ

さんまは秋を代表する魚。血液をサラサラにする不飽和脂肪酸(DHA・EPA)を多く含み、貧血を防止する鉄分、骨を強くするカルシウムや、その吸収を助けるビタミンDも豊富です。旬のきのこや野菜も1品で食べられるレシピです。

#### 【材料(2人分)】

●さんま3枚おろし	1尾
●塩	少々
●小麦粉	適宜
●まいたけ	1/2パック
●しめじ	1/2パック
●なす	1本
●かぼちゃ	50g
●にんにく	1片
●トマト缶	60g
●オリーブオイル	大さじ1/2
A ●塩	小さじ1/3
●こしょう	少々
●はちみつ	小さじ1
●ローリエ	1枚
●パセリ	適宜



#### 【作り方】

- 3枚おろししたさんまの身を半分に切り、全体に塩を振って10分おき、水気をふく
- まいたけとしめじは石づきを取ってほぐし、なすは5mm幅の半月切りにして水にさらし、かぼちゃは小さめの一口大に切る
- フライパンにオリーブオイル、潰したにんにくを入れて香りが立つまで炒める。さんまに小麦粉をつけてはたき、両面焼き色が付くまで焼いて取り出してください
- ③に水気を切ったなす、かぼちゃを加えてさっと炒め、まいたけとしめじも加えてさっと炒める。Aを加えて蓋をする
- 弱めの中火で10~15分煮て、塩(分量外)で味を調える
- 器に⑤を盛り、③のさんまを乗せて、好みでパセリをふる

## 行事食のご紹介

### 9月のおすすめメニュー「お月見膳」

秋といえば、月がキレイに見える季節。

中でも「十五夜」は特に月が美しく見えます。

9/13の昼食は栗ごはんなどお月見をイメージした料理で、秋を感じていただけると嬉しいです。



# 名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11  
URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>  
TEL 052-551-6121(代表)



#### 経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数		
HCU	12床	
一般病床	321床(7:1看護)	
地域包括ケア病床	40床	
合計	373床	

#### 診療科目

●内科	●循環器内科	●腎臓内科
●神経内科	●血液内科	●内分泌・代謝内科
●外科	●消化器外科	●整形外科
●脳神経外科	●婦人科	●皮膚科
●耳鼻咽喉科	●眼科	●麻酔科

#### 診療センター

●内視鏡センター	●認知症疾患医療センター
●肝臓疾患センター	●関節鏡・スポーツ整形外科センター
●予防接種センター	●健診センター

#### 専門外来 ※予約制(一部を除く)

●禁煙外来	●リウマチ膠原病内科
●ASO外来	●ペースメーカー外来
●シルバーカクリニック	●インスリン導入外来
●糖尿病透析予防外来	●フットケア外来
●小児慢性疾患外来	●乳腺外来
●関節鏡外来	●スポーツ外来
●小児整形外来(月1回・不定期)	●女性泌尿器科外来

#### 病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756



**1号館前の名鉄病院駐車場について** 平日7時~17時の利用で、来院お見舞いの方は割引サービスが可能です。1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引認証を受けてください。また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域医療連携室までお問合せください。

#### 本紙内容に関するお問い合わせは

事務部事務1課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711